

山崎だより

各戸配布

■令和6年(2024)2月(No30)
 ■発行責任者
 山崎自治会会長
 木村 修

節分祭、「ご寄進ありがとうございました。」

「山崎だより」は回覧板と一緒に回ります。各戸毎に一枚お取り下さい。

■節分祭は2月3日(土)

人形受付・餅焼き 17時～20時



■節分祭は氏神様にお詣りし、心身を清め無事息災をお祈りする日です。**寄進は当日も受付**を致しますので御協力の程よろしくお願いたします。

■寄進の時にお配りした人形に、氏名、年齢(又は干支)を書き、番号が記入された封筒に入れ当日持参して下さい。厄除け開運の神事と共に、家内安全、福德増進の御祈願をご奉仕申し上げます。

■昨年の御札や今年のお正月飾り等、ご持参頂くとご祈祷後「とんど焼き」を行い、厄除け・開運の神事と共に家内安全、福德増進を祈願致します。

■今年も竹串で**餅焼き**を行う予定です。お子さんには**提灯**や**お菓子**の振る舞いもあります。(餅、提灯、菓子は予定数量が無くなり次第終了します)

■新型コロナの感染やインフルエンザの流行が続いておりますので／体調不良の方の参拝はご遠慮下さい／大声で話さないで下さい／咳エチケットに御協力下さい。皆様の参拝を神社にてお待ちしております。

■敬友会総会

■山崎敬友会総会を公民館にて行います。また、出欠確認書(欠席の際は委任状)を2月10日までに各班幹事まで提出して頂ますようお願い致します。

■日 時／2月17日(土) 午後6:00

■場 所／山崎公民館 一階

■防災ボランティア訓練

■1月21日(日)、雨の中、訓練が実施され、防災チャレンジや展示、炊き出し訓練が実施されました。山崎自主防災会から9名が参加しました。



自治会リサイクル回収への参加も社会貢献です

毎月第一土曜日、**今月は2月3日(土)**です

■ダンボール、古新聞・紙、雑誌、古着・ウエス、牛乳パック、**アルミ缶**、スチール缶
 1月の回収では**6,815円**の収入がありました。

■売上は公民館の維持管理等、山崎自治会の活動に使用されます。

■万一、**収集に来ない場合は**、直接業者にご連絡下さい。

当日か翌日収集します。⇒072-847-0002／(株)西本(吉田商店)



■これまでの「山崎だより」をスマホやパソコンで**閲覧**や**ダウンロード**することができます。配布版はモノクロですが、これは**カラー版**です。
 右のQRコードをカメラで読み込んでください。 QRコード⇒⇒⇒⇒⇒⇒



■青山祭／関大明神

■寒さが厳しくなった1月19日(金)、関大明神で「青山祭」が行われました。今年も宮司の祝詞の後、神社総代会、山崎自治会、年長者クラブ、敬友会の各代表や地元企業の代表が供物をお供えし、参拝しました。また、4年ぶりに直会(なおり／祭りの終了後に、神前に供えた神饌御酒を神職や参列者で戴くこと)も行われました。

■この時期、周辺地域の神社などでは疫神祭が行われています。

関大明神社の「青山祭」は、古来「道饗祭(みちあへのまつり)」や「疫神祭」の性格を残す、この地域独自の特殊な神事とされています。



■山崎年長者クラブ

■2月3日(土)椎尾神社「節分祭」
午後5時～8時まで とんどでの餅焼き、の接待が有ります

■2月5日(月)／公民館

／10:00から

／山崎年長者クラブ役員会

■2月9日(金)

／第10回「趣味の会」

／場所:健康モール4F文化ホール

／午前10時から／内容:[サロン]お茶やコーヒーを飲みながらお喋りしたり(トランプ) (輪投げ)を楽しみます

■公式ゲーム(健康わなげ)

／毎週金曜日／10時から12時迄



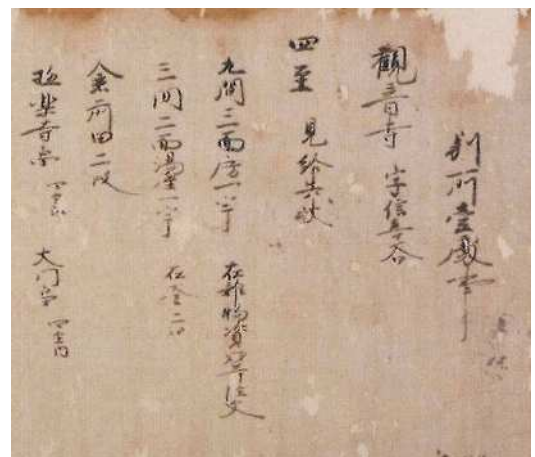
■西観音寺Ⅱ／平安時代から鎌倉時代

■1月号では、大山崎歴史資料館・歴史講演会「記憶の中の西観音寺」を参考に、天王山山頂の西付近にあった**慈悲尾山寺**の話題を平安時代までを中心に述べました。今回は平安末期からです。

■1188年の文献に、「慈悲尾山寺」と共に**信善谷**の寺号が使われています。「慈悲尾山」は天王山西中腹の「椎尾」にあたり、11世紀頃から世俗から離れた山岳寺院でした。一方「信善谷」は現在のサントリー山崎蒸溜所周辺を示します。西国街道にも近く、12世紀頃には**観音寺**と表記されています。13世紀前半には、この二つが結びつき境内が拡大したと考えられています。

■平安後期の戦乱の時代が鎌倉幕府によって収まった頃、**後鳥羽上皇**(1198～1221)が西観音寺に深く帰依し、水無瀬離宮より行幸して山林を寄進しました。そのため上皇崩御の後、毎年2月22日に御忌仏事を修めてきたそうです。1252(建長4)年には、上皇の中宮**修明門院**が上皇菩提のため土地を寄進しました。その縁で西観音寺に中宮直筆の「後鳥羽上皇御位牌」が有ったことは、2022年9月の「山崎だより」に掲載しました。こうして西観音寺領は東は宝積寺、西は水無瀬領と接していたため、中世にはしばしば境界紛議も起きたと文献に残っています。

■また、1279年には「忍連」と言う人が子息の「慈敬」に**油を搾る器具**や関連する「鍋」「釜」を譲ったとの記載があり、離宮八幡宮の油専売との密接な関係を窺わせます。この頃、今の島本町山崎から京都府大山崎町にかけての西国街道沿には「保」と呼ばれる11箇所¹⁾の地縁共同体が形成されており、「保」の統括は「貫主」と呼ばれ、「社家」が担当していました。しかし、西観音寺周辺では檀家を含む**門前集落**が形成されており、13世紀には「谷口」と言う地名が登場します。



僧定円譲状「山城国西観音寺文章」
1188(文治4)年 東京大学史料編集所